学校番号	３０２２

令和２年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校「現代社会」新訂版　（実教出版）新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	フォーラム現代社会（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

＊授業を大事にし、教科書をしっかり読む習慣をつけよう。
＊単に語句を覚えるのではなく、ことがらの内容・背景・課題点などを考えて、総合的に理解することに努めよう。
＊文章を書く機会がたくさんあります。具体的に表現するなど、自分の意思をしっかり伝えることができる文章を書くことをめざそう。

２　学習の到達目標

1 現代社会の諸課題について，政治・経済，社会・文化・倫理などさまざまな観点から探求し，時事的な問題を切り口に，現代社会に対する興味・関心を高める。
2 資料の収集法や活用の仕方，レポートのまとめ方，ディベートや討論の方法，メディアやインターネットの利用法，プレゼンテーションなど，学び方(スキル)を身に付ける。
3 現代社会について多角的な視点から考察させるとともに，現代社会と自己との関わりに注目させ，いかに生きるかを主体的に考える。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的な問題にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究するとともに，社会的事象を総合的に考え，よりよい社会の実現に向けて参加・協力する態度を身に付け，現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的な問題に関わる課題を見いだし，社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い角度から考察するとともに，社会の変化やさまざまな立場，考え方をふまえて，公正に判断する。また追究し考察した過程や結果をさまざまな方法で適切に表現する。	現代社会の基本的な問題にかかわる事柄に関する諸資料をさまざまなメディアを通して収集し，役立つ情報を主体的に選択して活用する。	現代社会の基本的な問題と人間としての在り方生き方にかかわる事柄や学び方を理解し，その知識を身に付ける。
評価方法	３分間スピーチ ディベート 観察など	３分間スピーチ ディベート 観察など	３分間スピーチ ディベート 観察など	定期考査 ３分間スピーチ ディベート 観察など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の経済社会と政府の役割	経済社会の形成と変容 市場の仕組み 現代の企業	○ ○	 ○	 ○ ○	○ ○	a:経済の動きと自分たちの生活とのかかわりについて関心をもつ b:市場原理おける要因について考察する c:さまざまな統計データやグラフから情報を読み取る d: 資本主義経済の発展について、理解する	定期考査 ３分間スピーチ ペアワーク 観察など
		経済成長と景気変動 金融機関の働き 政府の役割と租税	 ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ 	a:日本の財政における問題を喫緊の課題として捉える b:経済を支える財政・金融の役割について考察する c:さまざまな統計データやグラフから情報を読み取る d:GDP や経済成長の仕組みについて理解する	定期考査 ３分間スピーチ ペアワーク 観察など
2学期	現代の国家と民主政治、日本国憲法と国民生活、国際政治の動向	国民主権と民主政治の発展 日本国憲法の成立 基本的人権の保障 社会保障 労働問題と雇用	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:日本国憲法や基本的人権の歴史的な発展をふまえ、基本的人権を尊重する態度を養う。 b:人権保障の観点について、各種の判例から考察する c:さまざまな統計データやグラフから情報を読み取る d:社会問題や労働問題の変化と政治のあり方の変遷について理解する	定期考査 ３分間スピーチ ペアワーク 観察など
		平和主義 冷戦期の国際政治と現代社会の課題 核兵器と軍縮	○ 	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:日本の平和主義をめぐる現実の政治の動きに対して関心を持つ b:今後の国際関係について考察する c:さまざまな統計データやグラフから情報を読み取る d:現在の日本の外交や国際関係につながる歴史的経緯を理解する	定期考査 ３分間スピーチ ペアワーク 観察など

3学期	特別活動	ディベート 死刑制度、消費税増税、 原子力発電、年金問題、 難民問題、ヘイトスピーチ など	○	○	○	○	a:現在の社会におけるさまざまな問題について、他者との議論を通し解決を図ろうとする態度をもつ b:社会のあり方について多角的に考察し、自分の意見を表現する c: さまざまな統計データやグラフから情報を収集し、論拠として活用する d: 現在の社会におけるさまざまな問題について、内容・背景・課題点などを総合的に理解する	定期考査 課題 ディベート 観察など

特別活動

３分間スピーチ　　新聞記事を題材としたスピーチを行う（１～2 学期）

ディベート　　グループを作って、現代社会におけるさまざまな問題について調べ、賛成・反対に分かれ討論する（3 学期）

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。